会長 担当理事 会計

埼医業Ⅰ第７６６号
令和２年６月２３日

郡市医師会長　　殿

埼玉県医師会長　　金　井　忠　男
（担当常任理事　　丸　木　雄　一）

「新型コロナウイルス感染症外来診療ガイド第２版」内の
エアコン使用等記載について

６月４日付埼医業Ⅰ第６３４号にて「新型コロナウイルス感染症外来診療ガイド第２版」の発行について通知しておりますが、ガイド内のエアコンの使用や換気について、意図や考え方を整理し、日本医師会ＨＰに掲載したとのことです。

つきましては、お忙しいところ恐れ入りますが、貴会管下会員あてご周知くださいますようお願いいたします。

担　当：業務Ⅰ課　石田
ＴＥＬ：０４８－８２４－２６１１
ＦＡＸ：０４８－８２２－８５１５

越谷八潮医師会 収受 2.6.23 第450号

（生 23）
令和 2 年 6 月 11 日

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会常任理事
羽 鳥

「夏季を迎えるにあたっての外来セッティングについて
～エアコンの取り扱いなど～」のホームページ掲載について

令和 2 年 5 月 1 日付文書（生 7）、5 月 29 日文書（生 14）をもって、「新型コロナウイルス感染症外来診療ガイド」の第 1 版および第 2 版の発行についてご連絡申し上げたところです。

本外来診療ガイド内のエアコン使用や換気に関する記載について、複数の都道府県医師会や会員の先生方からご意見、ご質問をいただきました。

今般、添付のとおりその意図や考え方を標記のタイトルで整理し、日本医師会ホームページに掲載いたしましたのでご連絡申し上げます。

つきましては、本件について貴会管下郡市区医師会ならびに会員の先生方に周知いただきたく、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

「夏季を迎えるにあたっての外来セッティングについて～エアコンの取り扱いなど～」掲載 URL
http://dl.med.or.jp/dl-med/kansen/novel_corona/link/kanki20200611.pdf

2020.6.11　日本医師会

夏季を迎えるにあたっての外来セッティングについて
～エアコンの取り扱いなど～

「新型コロナウイルス感染症　外来診療ガイド（第２版）」の５ページでは、エアコンの送風によりウイルスを含んだエアロゾルが飛散し、感染が広がったと考えられる広東省広州市の事例（CDC Research Letter）を紹介した。これは、窓のない密閉されたレストランという環境で空気の循環が起こったためであり、エアコンそのものが問題であったとは結論づけられていない。

また、同ガイド９ページでは、換気とエアコン使用について記載しているが、これから真夏を迎える日本においては、熱中症を視野に入れながら、新型コロナウイルス対策を行っていかなければならない。エアコンはできるだけ切っておいた方がよいという考え方も示されているが、夏季を迎えてエアコンの利用を制限することは現実的ではない。

医療機関の外来は、病院、戸建て診療所、ビル内の診療所など、構造や間取りの違いもあり、どのような環境でも万全な対策法はありえない。

このため、次の原則や工夫をもとに、医療機関ごとに、各々の環境を考慮に入れながら、独自の対策を考えていただきたい。

【原則】

１）適切な換気を心がけること。

２）換気に際しては、風向きを考慮し空気の出入りの方向を意識する。疑い患者の側がそれ以外の人々の風上にならないように注意する。

３）エアコンを使用する場合には、冷却効率は低下するが、十分な換気を行いながら使用する。

４）擬い患者の待機室などでは、部屋の使用後に十分な換気を行ったのち、再使用を行う。

５）エアコンのフィルターを掃除する際には、グローブやサージカルマスクを装着し、取り外したフィルターは、洗浄する前に、洗剤を含んだ洗浄液に漬けおいてから洗浄を行う。

６）換気ができず、エアコンの使用も避けられない環境では、その場で無理をして擬い患者の診療を行うべきか、立ち止まることも大切である。

【環境への工夫】

1）日の当たる窓などブラインドやサンシェードを設ける。

2）玄関やベランダ、テラスなどに、打ち水のような散水を定期的に行う。

【職員への工夫】

1）ユニフォームを襟首の無いものや涼しい薄手のものに替えるか、無理に揃えず涼しいものを各自持参して使ってもらう。

2）保冷剤などをスカーフなどの布に巻き、首や肩にかける。